

生産者と共に わくわくできる 組織をめざす



中島 英利
NAKAJIMA Hidetoshi

株式会社 HAL GREEN
代表取締役
(北海道恵庭市)

海の中の生態がまだまだ解明されておらず、魚の行動特性が把握できないため、漁獲量の予想が難しいと言われています。最近、その予想をさらに難しくしているのが、海水温の上昇でしょうか。気象庁によると北海道近海の今年の平均海面水温は、太平洋側で1~7℃、日本海側で2~3℃、平年より上昇しているそうです。

「釧路でブリ」「稚内でイカ」など、従来水揚げされていたのとは違う漁港で豊漁となるビックリニュースが、いまや驚きでなくなってきました。当初、水揚げされた漁港周辺にはその魚種に合った加工場がなく、「どう加工すればいい？」などの会話も交わされていたと聞きます。一言で片づけるとやはり「温暖化」なのでしょう。

なかじま ひでとし

1967年北海道生まれ。1990年北海道銀行入行。2005年からアグリビジネス分野を担当。銀行出資の農業地域商社「株式会社 HAL GREEN」の立ち上げにかかわる。

わが家は札幌市に隣接する北広島市にありますが、そもそも北海道で35℃以上の猛暑日は何日も続くとか、考えられませんでした。今まではなんとかエアコンなしで過ごしてきましたが、今年の暑さで

いこう」などと前向きです。めげない生産者に負けるわけにはいきません。われわれはしっかり販売し、新しい情報をお届けしていきます。「過去に例がなく大変だ〜！」ではなく、乗り切る知恵を出し合う。



©伊東 剛

我慢の限界を超え、ついにエアコンを買いました。これだけ気温上昇が顕著になると、当然農産物にも影響大です。

今年は猛暑と集中豪雨の影響で、地域によってはタマネギ・ジャガイモ・カボチャへのダメージが大きく、スイカ・メロンも収穫時期が大きく早まり玉サイズも肥大化傾向になるなど対応に苦慮する年となりました。

それでも生産者はたくましく、「気候に合った作物を作ろう」「環境に合わせて自分たちも変化して

わが社では、数年前から温暖化を活用するべく生産者に「サツマイモ生産」をご案内しています。初めての試みのため「わくわく」しながら生産していただき、本当においしいサツマイモができています。

これからも、時代や環境の変化を前向きに取り入れ、「生産者と共にわくわくする組織」をめざします。農業経営アドバイザー同士でもノウハウの共有はもちろん、お互いのネットワークも活用し、「わくわくする活動」をめざす、そんな関係でいられたら最高です。 **F**



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。